

平成21年 豊島区功労者表彰式 記念講演

「息子・伸行と ともに歩んだ20年」

【講師】辻井 いつ子さん

美しいものを愛する心で。

講師紹介

東京都生まれ。

東京女学館短大卒業後、フリーのアナウンサーとして活躍。

1988年に生まれた長男・伸行さんが生後まもなく全盲と分かり、
絶望と不安の中、手探りで子育てをスタートする。

持ち前の積極性と行動力で伸行さんの可能性を引き出した。

2008年11月、子育てに悩む親が集まって意見交換をするサイト

「辻井いつ子の子育て広場」を開設し、

子供の才能を引き出した自らの経験を活かした
取り組みを進めている。

また現在、各地において講演活動にも
精力的に取り組んでいる。

著書に『今日の風、なに色?』、『のぶカンタービレ!』
(ともにアスコム刊)がある。

現在、豊島区在住。



《撮影》塔下智士



辻井伸行(つじい のぶゆき)さん

1988年東京生まれ。10歳で音楽界への登竜門といわれるピティナ・ピアノコンペティションのD級で金賞を受賞。また、アメリカ、チェコ、台湾などでも演奏し、絶賛される。

2000年(12歳)サントリーホールで初リサイタル、2002年(13歳)フランスで佐渡裕指揮のラムルー管弦楽団と共演するなど、数多くの演奏会・リサイクルに出演し、2005年(17歳)には、第15回シヨパン国際ピアノコンクールに最年少で出場し、「ポーランド批評家賞」を受賞するなど、世界へ羽ばたくピアニストとなる。

2009年6月7日、アメリカで開催されたヴァン・クライバーン国際ピアノコンクールで日本人として初の優勝を飾る。

これら数々の功績に対し、本年7月14日、高野区長より「豊島区文化功労表彰」が贈呈された(左写真)。